

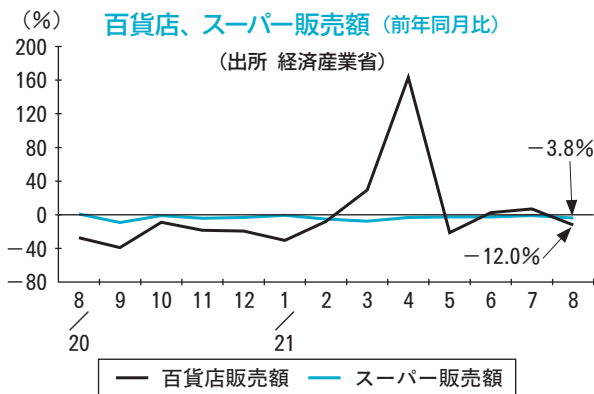


大阪府経済の概況

新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる

1

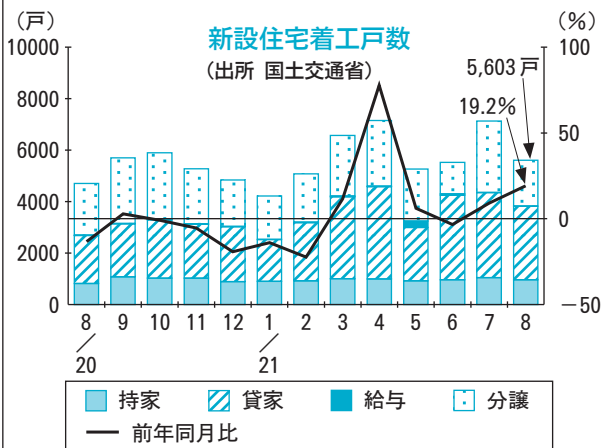
個人消費 (百貨店・スーパー販売額 (全店ベース、速報値)) 販売額は前年同月比 2 か月ぶりの減少



- 8月の百貨店販売額は前年同月比12.0%減の460億26百万円で、3か月ぶりの減少。
- 8月のスーパー販売額は同3.8%減の744億10百万円で、12か月連続の減少。
- 百貨店・スーパーの販売額は同7.1%減の1,204億36百万円で、2か月ぶりの減少。

2

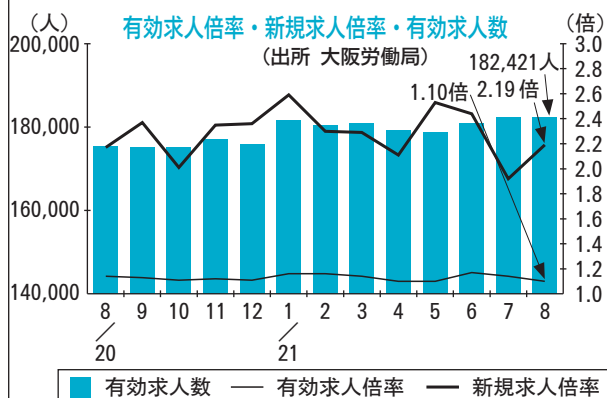
住宅着工 新設住宅着工戸数は前年同月比 2 か月連続の増加



- 8月の新設住宅着工戸数は前年同月比19.2%増の5,603戸となり、2か月連続の増加。
- 利用関係別にみると、持家は同17.0%増の963戸と6か月連続の増加、貸家は同53.6%増の2,857戸と2か月ぶりの増加、分譲住宅は11.6%減の1,777戸と2か月ぶりの減少となった。

3

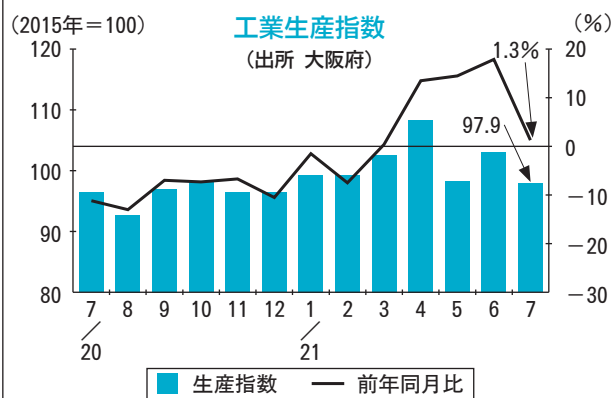
雇用情勢 有効求人倍率は前月比 0.04 ポイント低下の 1.10 倍



- 8月の有効求人倍率(季調値)は、前月比0.04ポイント低下の1.10倍となり、2か月連続の低下。前年同月比は0.04ポイント低下。
- 新規求人倍率(季調値)は、前月比0.27ポイント上昇の2.19倍となり、3か月ぶりの上昇。前年同月比は0.02ポイント上昇。

4

生産活動 工業生産指数は前月比 2 か月ぶりの低下



- 7月の工業生産指数(季調値、速報値)は、前月比5.0%低下の97.9となり、2か月ぶりの低下。原指数は前年同月比1.3%上昇の100.6となり、5か月連続の上昇。
- 業種別生産指数の動きをみると、輸送機械工業、石油・石炭製品工業などの4業種が前月上昇となる一方、化学工業、電気・情報通信機械工業などの10業種が同低下。